

授 業 科 目 名	倫理学	教 員 名	八重樫 徹	免許・資格 との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
授 業 形 態	講義	担当形態	単独	卒業要件	保育士	選択必修
科 目 番 号	JIN103	配当年次	1年後期		こども音楽療育士	
単 位 数	2単位			小幼コース	選択必修	幼保コース
科 目						
施 行 規 則 に 定める科目区分 又は事項等						
科 目	告示別表第1による教科目					
系 列	保育の本質・目的に関する科目					
一 般 目 標	保育者に求められる資質と役割、保育者の仕事内容、保育者の専門性など、保育者という仕事の概論を理解する。また、保育者の学び合う姿勢が目指すべき保育の専門性を向上させていることを理解する。					
到 達 目 標	倫理学上のさまざまな主張の検討を通して、倫理的問題に関する自主的判断能力の育成をめざす。					
授 業 の 概 要	倫理的問題に関する自主的判断能力の育成をめざす。倫理学の基本を学んだ上で、安楽死からAIまで、多岐にわたる具体的なテーマについて、倫理学でどのような議論がなされているのかを学ぶとともに、自らの意見を筋道立てて述べられるようになるためのトレーニングをおこなう。現代社会が抱える複雑で切実な問題について、しっかりとした根拠にもとづいて倫理的に思考し判断する力を身につける。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、学科のディプロマポリシーに掲げる「1. 社会・教育等に関連する国内外の様々な問題について、現状・課題を認識し、その解決策を考察できる能力を身につけている、2. 教育者としての情熱を持ち、正しい倫理観と責任感を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 計 画	第1回:ガイダンス/倫理学とは 第2回:倫理学の基礎 (1) 功利主義 第3回:倫理学の基礎 (2) 義務論 第4回:倫理学の基礎 (3) 徳倫理学 第5回:死刑制度の倫理 第6回:嘘と約束破り 第7回:自殺と安楽死 第8回:中間まとめ/ディスカッション 第9回:喫煙とパターナリズム 第10回:肉を食べてもよいのか 第11回:食と農の倫理 第12回:善行の義務 第13回:人工知能と倫理 第14回:公正に生きるために 第15回:期末まとめ/ディスカッション 定期試験:(出題範囲は第1回～第15回の授業内容から)					
学 生 に 対 す る 評 価	毎回の授業内課題50%、定期試験50%					

時間外の学習について	毎回指定する教科書の該当箇所（もしくは配布する参考資料）を事前に読んだ上で授業に臨んでください。また、確認プリントを使って復習してください。
テキスト	児玉聡『実践・倫理学』勁草書房、2020年。
参考書・参考資料等	必要に応じて参考資料を配布します。
担当者からのメッセージ	
オフィスアワー	